

甦る！古代吉備の国～謎の鬼ノ城～

史跡鬼城山城内確認調査
平成23年度発掘調査成果
(その1)

- 1 今年度最初に調査した C5 調査区は、鬼ノ城で2番目に高い北門背後の山頂（標高約 374m）に位置します。調査の結果、集石遺構、被熱土壌、小穴などを検出しました。
- 2 集石遺構は、およそ4×3mの範囲に石材がちらばっています。平安時代以降に何らかの目的で石材が持ち込まれたと考えられますが、詳細な性格は不明です。
- 3 被熱土壌が2基検出されましたが、そのうちの1基は、平安時代以前のもものと推測できます。
- 4 C5 調査区からコンテナ箱約1箱分の土器が出土しました。大半は平安時代の土師器（杯など）でした。
- 5 以上の結果、C5 調査区では鬼ノ城のお城に直接関連する施設は発見できませんでした。しかし、平安時代を中心とした遺構・遺物が検出されたことで、鬼ノ城廃絶後の状況について貴重な所見を得ることができました。



C5 調査区（南から）



被熱土壌（南から）



C5 調査区位置図